



テクノメッセ東大阪 2016 に行ってきました！



12月になってしまいました。寒くなってきましたが、皆さんお元気でしょうか？

11月9日(水)に第29回東大阪産業展(テクノメッセ東大阪2016)に行ってきました。

クライアントさんが新製品をお披露目するというので様子を見に行ってきたのです。ブースに到着した時、担当者は接客中。来訪者も多くて良い感じでした！

実は10月6日(木)に、**新製品が日刊工業新聞に掲載**されました。爆発的掲載効果はありませんが、**新聞を見たというお問い合わせが少しずつ来ています。**面白いところでは、技術専門誌から執筆依頼があったとのこと。その後、東大阪ブランド推進機構から「東大阪ブランドのプラスアルファ製品」に認定されたという連絡もありました。**新聞掲載から展示会に至るまで、新製品PRの流れが良くなってきていますね。**過去にお手伝いした企業もマスコミ掲載以降、良い流れに乗って飛躍しています。今回も飛躍する予感がします！

「ズルさのすすめ」を読みました！



今回ご紹介する本は『**ズルさのすすめ**』(青春出版社、¥907、佐藤優著)です。著者は鈴木宗男氏の事件で有名になり、今はベストセラー作家として活躍しています。読んでみたところズルい部分はなく、組織の中で生き残っていくために至極真つ当なことが書かれています。**ある意味、このような書名を付けたところに「ズルさ」を感じますね(笑)。**さて、興味深いポイントをご紹介しますね。

「起こりうる問題を一度ノートに書き出してみることをおすすめします。(P46)」
「あくまでシミュレーションとして淡々と紙に書き出すのです。問題が明確になれば、どうすべきか、何が必要かが自然と見えてきます。(P46)」
「問題に向き合う際に大切なのは、問題自体を大きく三つに仕分けること。それは、『1. 解決可能か 2. 解決不可能か 3. 解決できなくても緩和することは可能か』という3つ。それによって対処に仕方が決まってきます(P47)」
実際にノートに書き出すという部分と問題を三つに仕分ける部分が良いですし、すぐに使えると感じました。実際、このやり方を実践している人は極めて少ないような気がします。

ノートに書くというやり方ですが、他のページでも登場します。コピー用紙の裏紙やポストイットではなく、**「ノート」に書く**ということですね(笑)。無印の低価格ノートがたくさんありますので、早速やってみます！